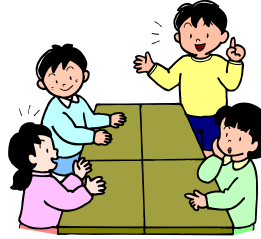
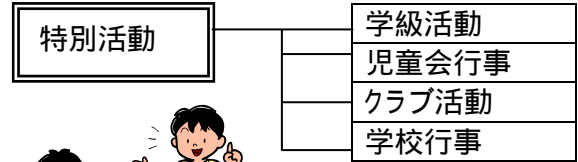


特別活動はどのような学習なのでしょう

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的実践的な態度を育てる。



学級活動はどのような活動なのでしょう

学級活動はこのようなねらいで活動します

学級を単位として、学級や学校の生活の充実と向上を図り、健全な生活態度の育成に資する活動です。

学級活動には次のような活動内容があります

学級や学校の生活の充実と向上に関すること

学級や学校における生活上の諸問題の解決や学級内の組織づくりや仕事の分担処理などの活動を行います。

日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること

希望や目標をもって生きる態度の育成、基本的な生活習慣の育成、望ましい人間関係の育成、学校図書の利用、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、学校給食と望ましい食習慣の形成のための活動を行います。

学級活動は他の教科と異なり、通知票などで示す評定はありません。しかし、時間割にはどの学年でも、週1時間が割り振られており、授業として年間最低35時間(1年生は34時間)は実施しています。学級活動は大きく二つの内容に分かれます。一つが「学級や学校の生活の充実と向上に関する内容」で、もう一つが「日常の生活や学習への適応および健康や安全に関する内容」です。

前者は主に教師の指導のもとに、児童が自ら考えたり話し合ったりします。後者は学校生活や行事に合わせ、教師が計画的に指導内容の重点化を図りながら進めていきます。

評定には現れませんが児童がこれらの活動を通して集団の一員としての望ましい資質や能力が育っているか、さらに、問題の解決を通して人間としての生き方の自覚を深め、自己を生かす能力が養えたか等を評価していきます。多くは、教師の観察や、面接、質問紙によるものや児童自身の自己評価を参考にして総合的に評価をしていきます。

また、活動そのものがどうであったかを振り返る観点としては、「話し合うべき事項に対する意見が多く出されたか」「手順良く効率的に活動が進行したか」「多くの意見を取り上げることができたか」「実践に向けて具体的な点が決定されたか」等があげられます。

次のような資質や能力を育てる活動です

望ましい集団活動の展開

活動の目標を全員でつくり、協力して実践する過程で一人一人が役割を分担し、社会生活を営む上での基本的なモラルや社会生活上のルールを身につける。

心身の調和のとれた発達

集団の一員としての自覚を持ち、積極的に集団活動に取り組むことによって、生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための基礎を身につける。

個性の発見と理解

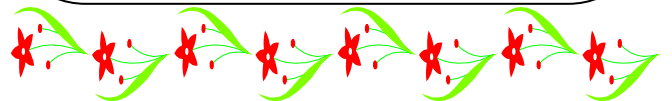
多様な集団活動に取り組み、人間的なふれあいを深める中で、お互いの良さを認め合うとともに、自分らしさを発揮できるようにする。

社会性の育成

身の回りの諸問題を一人一人が意識し、解決するための知恵を出し合い、協力してよりよい生活を築こうとする。

自主的、実践的な態度の育成

さまざまな集団活動に自発的・積極的に取り組むことで、一人一人が自主的、実践的な態度を身につける。



自己決定したことに対する自己評価や友達同士の相互評価、担任による観察や質問などで評価します。

数値などによる評価は行いません。